

# 躍進

いきいき狭山人  
びと

## 多くの人たちと子育てネットワークを広げ 子ども達を豊かに育む 地域づくりを目指していきたい

近年、少子高齢化や核家族化などで、子ども達にとって最も重要な教育の場である家庭環境が大きく変化しています。県ではこのような状況の中、子育てに不安を持つ親たちへのアドバイスや、子

育てグループなどのリーダーとして活動する子育てアドバイザー制度を設けています。小山眞保子さんは平成15年にこの養成講座を修了され、地域に根ざした子育て事業に取り組んでいます。

「以前、青少年育成推進員として、健全育成やPTAの活動をしていたときに、子ども達の生活様式の大きな変化に驚きました。私たちが経験してきた純粋な子ども時代をもっと大事にしなければと思ったのが、子育て事業に取り組むきっかけになりました」と語る小山さん。現在、放課後や週末に、自然、スポーツなどのさまざまな体験ができる、狭山市地域子ども教室推進事業のコーディネーターとして活躍しています。



子ども時代の大事にできる、地域の教育力が必要だと思います

子育てアドバイザー

小山 眞保子さん(入間川在住)



赤ちゃんのお休み処を中央公民館と社会福祉会館に開設。ボランティアの中学生と赤ちゃんとの触れ合いは子育ての原点になります



「狭山ぼうけんあそび場 ほんきっこ」は、戸外で仲間と遊ぶ楽しさや喜びを感じるあそび場です

「以前、青少年育成推進員として、健全育成やPTAの活動をしていたときに、子ども達の生活様式の大きな変化に驚きました。私たちが経験してきた純粋な子ども時代をもっと大事にしなければと思ったのが、子育て事業に取り組むきっかけになりました」と語る小山さん。現在、放課後や週末に、自然、スポーツなどのさまざまな体験ができる、狭山市地域子ども教室推進事業のコーディネーターとして活躍しています。

「真つ赤な顔で入ってきた赤ちゃんが、きれいにおむつを替えてもらい、気持ちよさそうにしているのを見ると、お休み処をやつてよかったなと思います。最近、授乳に來られる方も多く、安心してお乳をあげられてうれしいと言っていた聞いています。ほんの小さな気づきから仲間ができ、行政と協働した取り組みになりました。こんな形で市民によるネットワークが広がるといいですね。さらに小山さんは、ボランティアで参加した中学生は、可愛い赤ちゃんを抱いて目を輝かせていました。赤ちゃんとの触れ合い

で喜びを感じてくれれば、将来の子育てにつながるに違いありません」と続けます。昨年からは、15人の仲間とともに、本気であそぶ子応援団」という新たな取り組みも始めました。私たち応援団は、子ども達が五感を働かせ、本気で戸外で遊びながら、元気な力を育むために、狭山台中央公園に冒険遊び場を定期的に開いています。ぜひ多くの皆さんに来ていただきたいです」と話す小山さん。

子育てアドバイザーとしての知識と経験を生かし、常に子どもたちのすこやかな成長を願いながら、地域のネットワーク作りに取り組み毎日です。

## 奥富かかし祭の開催をとおして



塩野谷延夫さん 稲刈りが終わったあとの、のどかな田園風景を生かしながら、地域の活性化と、お年寄りから子どもまでと一緒に楽しめようと始まった「奥富かかし祭」。昔ながらの古着と麦わら帽子をかぶった素朴なものから、アニメのキャラクターやスポーツ選手まで、毎年100体を超えるさまざまなかかしが会場に飾られます。

第1回目から祭りの実行委員長を務めさせていただき感じることは、多くの皆さんの善意と協力により支えられているということです。開催費用についても、地元の方や企業の皆さんから温かい寄附をいただくことで、毎年盛大に祭りを行うことができます。これは、地元を大切にしたいという気持ちの表れだと思い、大変感謝しています。

祭りを楽しむ子どもの声や、親子で手をつなぎながら楽しく歩くようすを見ていると、苦労して準備をしてきたことが報われる思いがします。これからも、地元根づいた祭りとして、次の世代へと永く引き継がれていけるよう頑張っていきたいと思います。

### 市の考え方

貴重なご意見をいただきありがとうございます。

奥富かかし祭は、まちづくり推進事業の一つとして、地域住民の親睦や伝統文化の継承に大きな役割を果たしています。この催しに際し、役員をはじめ、地域の皆さんには大変なご苦労をいただき、深く感謝いたします。

今年で21回目の開催となりますが、地区センターとしても、地域の皆さんと一体となって、今後も、奥富かかし祭を継続していきたいと思ひます。

担当 奥富地区センター

皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎2954 6262(代) ☒koho@city.sayama.saitama.jp

また、日々のストレスや悩みも仲間と話すことでストレス発散になり、気持ちも明るくなります。同時に、楽しみながら体を動かすので、運動不足の解消にもつながり、健康維持にも最適です。ラウンドダンスは、心と体の両方を癒してくれます。健康のために、何か始めようと考えている方は、勇気を持って一歩踏み出せばいいかがですか？きつと新しい自分を発見できると思ひます。問合せ高羅朝子さんへ 2959 5836

私の宝物 ...

## 幼い娘の真心が私の元気に

私が毎日使っている自分用のご飯茶碗。もう20年以上も使っています。これは、娘が5歳のときに父親に教わりながら焼いたもので、小さな手で一生懸命粘土をこねる娘の姿が思い出さ(つつじ野在住)れます。当時の娘にしてみれば、この大きさは相当なものだったでしょう。



幼い娘が私のために作ってくれたことを思うと、子どもを授かった喜びを感じるとともに、とかく大人が忘れがちな純粋な心を教えられます。



飯能焼のお茶碗は、全く欠けることもなく今でも食卓で活躍

毎回食事のときに「いただきます」と手を合わせると、娘からたくさんの元気をもらえる私の大切な宝物です。

次回は友人で、柏原にお住まいの方をご紹介します。

## Hello ハロー 仲間たち

Vol.327



技術向上を目指し、練習を続けています

## ラウンドダンスサークルメモリー

私たちのサークルは、平成18年に発足し、現在、50代から70代の会員27名が中央公民館に集まり活動しています。

ラウンドダンスはワルツやリンバなどの音楽に合わせて、二人一組のペアになり踊りますが、一番の特徴は、「キユーイング」と呼ばれる指導者からのコールに合わせて踊ることです。このコールはすべて英語で指示されるので初めは戸惑いますが、慣れてくると自然に体が動くようになり、その楽しさに夢中になっていきます。